

MTT035-06

会場:203

時間:5月24日 09:45-10:00

## エスノサイエンスとサイエンスの関係 農村調査の経験から Ethnoscience and science in an ethnobotanical fieldwork

佐藤 靖明<sup>1\*</sup>  
Yasuaki Sato<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup> 大阪産業大学  
<sup>1</sup>Osaka Sangyo University

人びとが環境を認識して利用する際の知識もしくは技術のことを「エスノサイエンス」と呼ぶ。それは環境に関わる多くの研究分野と接点を持ちうるが、本来、西欧世界に基盤をもつ「科学」的な研究とは異なる体系として取り出されてきた経緯をもつ。学際的な研究の潮流の中で、エスノサイエンスの知見は「科学」に同化・吸収されるのか、それとも「科学」と対置されるのか…。

筆者のウガンダでのバナナ農耕民を対象とした調査や、国際研究機関でのインターンシップ時の経験をとおして、エスノサイエンスと異分野とのつながり方について考える。

キーワード: エスノサイエンス, 知, フィールドワーク, バナナ  
Keywords: ethnoscience, knowledge, fieldwork, banana